サポート情報記事

List Filter Online での SharePoint 列の書式設定 JSON の使用

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

列の書式設定の有効化 4

サポートされる機能 5

- 要素 5
- スタイル 6
- 属性 6
- フィールド トークン 8
- 式 8

サポートされない機能 9

サンプル 10

パフォーマンス 13

用語 14

はじめに

列の書式設定は、**SharePoint Online** の機能で、**JSON** の記述によって列の表示方法を変更します。たとえば、ステータスを色付きのラベルで表示したり、数値をその値に応じて色分けしたり、ユーザーをメールを開始するリンクとして表示したりできます。この記述は列自体に保存され、**SharePoint** はリストのすべてのビューにそれを適用します。

List Filter Online は、これらの記述に対応できます。このオプションを有効にすると、Web パーツは、書式が設定されている各列の列の書式設定 JSON を読み取り、それに基づいてテーブルのセルを描画します。そのため、ページ上のテーブルは元のリストと同じ見た目になります。この Web パーツは、列の書式設定言語のうち、よく使われるサブセットを実装しています。この記事では、何がサポートされ、何がサポートされないか、そして書式がサブセットを超えた場合にどうなるかを正確に説明します。

メモ

Web パーツが適用するのは列の書式設定のみです。ビューの書式設定 (行またはビュー全体を書式設定する JSON) は、Web パーツがリストのビューを使用しないため、読み取られません。

列の書式設定の有効化

ページを編集し、Web パーツのプロパティ ペインを開いて、**外観** グループを展開します。**リストの列の書式設定を使用する** をオンにします。このオプションは既定でオフです。



リストの列の書式設定を使用する オプション

JSON 自体を Web パーツに入力することはありません。JSON は、ソース リストの列の定義から取得されます。これは、リストで**列の設定 → この列を書式設定**を開いて書式を保存したときに SharePoint が編集するものと同じ定義です。Web パーツは、列の他のプロパティと一緒にそれを読み込むため、別のサイトにあるリストの列に設定された書式も適用されます。書式は列ごとに設定されます。書式を持つすべての列はその書式に基づいて描画され、書式のない列は、列コンフィギュレーターで選択された表示形式のままになります (KB10258. List Filter Online での列の構成: 見出し、形式、表示オプションを参照してください)。



リストで定義され、Web パーツで適用された列の書式

列に書式が適用されると、その列の **アイテムへのリンク** オプションを含め、セルが完全に置き換えられます。値をクリック可能なままにしたい場合は、書式自体にリンクを含めてください。

サポートされる機能

要素

書式は要素のツリーです。各要素は、次のキーを持つオブジェクトです。

- `elmType` - `div`、`span`、`a`、`img`、`button`、`p` のいずれかです。後述のサポートされない値を除き、それ以外の値は `div` として描画されます。
- `txtContent` - 要素のテキストです。リテラル文字列、フィールド トークン、または式を指定できます。
- `style` - 要素の CSS プロパティです (後述)。
- `attributes` - 要素の HTML 属性です (後述)。
- `children` - 子要素の配列で、順番に描画されます。

`$schema` や `debugMode` など、Web パーツが認識しないキーは無視されます。

スタイル

`style` オブジェクトでは次の CSS プロパティを設定できます。すべての値は、リテラルまたは式にできます。

`background`, `background-color`, `border`, `border-top`, `border-right`, `border-bottom`, `border-left`, `border-color`, `border-style`, `border-width`, `border-radius`, `box-shadow`, `color`, `cursor`, `direction`, `display`, `fill`, `flex-direction`, `flex-wrap`, `align-items`, `justify-content`, `font-family`, `font-size`, `font-style`, `font-weight`, `letter-spacing`, `line-height`, `text-align`, `text-decoration`, `text-overflow`, `text-transform`, `white-space`, `word-break`, `overflow`, `opacity`, `visibility`, `padding`, `padding-top`, `padding-right`, `padding-bottom`, `padding-left`, `margin`, `margin-top`, `margin-right`, `margin-bottom`, `margin-left`, `width`, `min-width`, `max-width`, `height`, `min-height`, `max-height`.

この一覧にないプロパティ (たとえば、テーブルのレイアウトを崩す可能性のある `position` や `z-index`) は、通知なくスキップされます。`url(` を含む値もスキップされるため、スタイルを通じて背景画像を読み込むことはできません。

属性

属性	要素	動作
`class`	すべて	要素の CSS クラスを設定します。`sp-field-severity--good` などの SharePoint のクラス名は受け付けられますが、

属性	要素	動作
		ページ上ではスタイルが適用されません。色には `style` を使用してください。
`title`	すべて	要素のツールヒントを設定します。
`href`	`a`	リンク先のアドレスです。`http:`、`https:`、`mailto:`、`tel:` と相対アドレスが許可されます。それ以外のスキームは破棄され、要素はリンクなしで描画されます。リンクには `rel="noreferrer"` が付与されます。
`target`	`a`	リンクのターゲット ウィンドウです。指定しない場合は `_blank` (新しいタブ) になります。
`src`, `alt`	`img`	画像のアドレスと代替テキストです。`href` と同じアドレスの規則が適用されます。有効な `src` のない画像は描画されません。
`iconName`	すべて	`Mail` や `CheckMark` などの Fluent UI アイコンの名前で、要素のテキストの前に挿入されます。

role、aria-*、d、data-interception を含むその他の属性は無視されます。

フィールド トークン

トークン	値
@currentField	書式設定されている列の値。
@currentField.prop	値のプロパティ。ユーザーの場合は title、email、id、jobTitle、department、picture、参照の場合は lookupValue または lookupId、ハイパーリンクの場合は Url または Description。
[$Field]	同じアイテムの別の列の値 (内部名で指定)。
[$Field.prop]	その値のプロパティ (プロパティ名は上記と同じ)。
@me	現在のユーザーのメール アドレス。
@now	現在の日付と時刻。

トークンは単独で使用できます ("txtContent": "@currentField")。また、より長い文字列の中にも記述できます ("txtContent": "所有者: [$Owner.title]")。複数値の列 (複数のユーザー、参照、またはターム) は、コンマ区切りの一覧として表示されます。複数値の列に対する [$Owner.email] のようなプロパティ アクセスは、最初の値のプロパティを返します。ユーザーと参照の値は名前が表示され、日付はローカライズされた日付として表示されます。

式

式は、演算子ツリー (operator と operands を持つオブジェクト) として、または SharePoint の Excel に似た構文を使用して = で始まる文字列として記述できます。どちらの形式も、同じ一連の演算をサポートしています。

- 算術: + (文字列の連結も可)、-、*、/、%。
- 比較: ==、≠、>、<、≥、≤ - 日付はタイム スタンプで比較されます。

- 論理: &&、||、!、条件演算子 ? : (ツリーでは、3 つのオペランドを持つ演算子 ? または :)、および関数 if(condition, whenTrue, whenFalse)。
- 変換: toString()、Number()、Date()。
- 数値: abs()、floor()、ceiling()。
- 文字列: toLowerCase()、toUpperCase()、indexOf()、substring()、length()。

= で始まる文字列では、文字列リテラルは単一引用符または二重引用符で記述し、数値は数字で、ブール値は true と false で記述します。かっこで部分式をグループ化でき、フィールド トークンはそのまま使用します: =if([$Priority] == 'High', '#a4262c', '#323130')。

サポートされない機能

Web パーツは、列の書式設定言語の次の部分を実装していません。

- forEach - 複数値の列の各値に対して要素を繰り返す機能。
- customRowAction - フローの開始、パネルの表示、フィールド値の設定を行うボタン。
- elmType: "filepreview" - ドキュメントのプレビュー。
- elmType: "svg" と path - インライン ベクター グラフィックス。
- トークン @rowIndex、@window、@thumbnail、@currentWeb、およびこの記事に記載されていないその他のトークン。
- toLocaleString()、toLocaleDateString()、startsWith()、padStart()、replace()、split()、join()、getDate()、addDays()、getUserImage()、cos()、sin() など、この記事に記載されていない演算子と関数。

forEach、customRowAction、filepreview、svg、不明な演算子や関数、= 式内の不明な @ トークン、または = 式の構文エラーを使用する書式は、描画できません。その場合、Web パーツはその書式を断念し、あたかもその列でオプションがオフであるかのように、列を既定の表示 (列コンフィギュレーターで選択された形式) で描画します。他の列には影響しません。一方、不明な属性やスタイル プロパティは単にスキップされ、書式の残りの部分は適用されます。

警告

SharePoint の列の書式設定デザイナーが生成する書式や、Microsoft が公開しているサンプルでは、`forEach`、`customRowAction`、`getUserImage()`、`toLocaleDateString()` など、サポートされるサブセットの範囲外の構文がよく使われています。そのため、リストでは動作する書式が、Web パーツでは既定の表示にフォールバックすることがあります。オプションを有効にした後は、必ずページ上で結果を確認し、列が想定どおりに描画されない場合は書式を簡略化してください。

メモ

値は、リストの地域設定に従って書式設定されたテキストとして渡される場合があります。`Number()` または `Date()` は、これらの関数が認識できる形式にのみ使用してください。地域固有の小数点、桁区切り記号、日付形式は正しく変換されない場合があります。別の列を参照しても、未加工の数値や日付が得られるとは限りません。実際の値を確認し、変換が確実でない場合は書式を簡略化してください。

`[$Field]` 参照です。`@me` と `@now` は単独のトークンか `=` 式で使用してください。不明な `@` トークンは `=` 式では既定の表示へのフォールバックを起こしますが、通常のテキストではそのまま表示されます。

サンプル

次の書式は、サポートされるサブセットの範囲内に収まっています。

ステータス ラベル。 選択肢の値が、値に応じて色が変わる丸みのある背景の上に表示されます。

```
{
  "$schema": "https://developer.microsoft.com/json-schemas/
sp/v2/column-formatting.schema.json",
  "elmType": "div",
  "txtContent": "@currentField",
  "style": {
    "display": "inline-block",
```

```
    "padding": "2px 10px",
    "border-radius": "12px",
    "font-weight": "600",
    "color": "#ffffff",
    "background-color": "=if(@currentField == 'Approved',
'#107c10', if(@currentField == 'Rejected', '#a4262c',
'#8a8886'))"
  }
}
```



タイトル	部署	プロジェクト	ステータス	担当者	期限	金額	更新日時
大型の展示ブースを...	マーケティング	展示会 2026	却下	Megan Bowen	2026/11/30 15:00	¥1,800,000.00	2026/10/13 01:27
BI ライセンスを追加...	開発	データ基盤	却下	Lee Gu	2026/11/10 15:00	¥600,000.00	2026/10/13 01:28
出張予算を増額する	経理	2027 年度予算	却下	Diego Siciliani	2026/10/21 15:00	¥900,000.00	2026/10/13 01:28
新しいカラー パレッ...	マーケティング	ブランド刷新	承認済み	Megan Bowen	2026/10/08 15:00	¥150,000.00	2026/10/13 01:27
パートナー向け割引...	営業	パートナー プログラム	承認済み	Miriam Graham	2026/10/11 15:00	¥80,000.00	2026/10/13 01:27
2027 年度の予算案を...	経理	2027 年度予算	承認済み	Diego Siciliani	2026/10/06 15:00	¥0.00	2026/10/13 01:28
新入社員向けメンタ...	人事	オンボーディング ポ...	承認済み	Grady Archie	2026/11/03 15:00	¥350,000.00	2026/10/13 01:28
ロゴ使用ガイドを更...	マーケティング	ブランド刷新	進行中	Adele Vance	2026/10/15 15:00	¥520,000.00	2026/10/13 01:27
顧客の連絡先を CRM ...	営業	CRM 導入	進行中	Isaiah Langer	2026/10/19 15:00	¥640,000.00	2026/10/13 01:27
モバイル アプリのベ...	開発	モバイル アプリ	進行中	Lee Gu	2026/10/31 15:00	¥980,000.00	2026/10/13 01:27

1 - 10　　ページ 1

色付きのラベルとして表示された 状態列

値に応じて色分けされた数値 (演算子ツリーで記述)。1000 を超える金額は赤の太字で表示されます。

```
{
  "elmType": "span",
  "txtContent": "@currentField",
  "style": {
    "color": {
      "operator": "?",
      "operands": [
        { "operator": ">", "operands": [ { "operator":
"Number()", "operands": [ "@currentField" ] }, 1000 ] },
        "#a4262c",
        "#107c10"
      ]
    },
    "font-weight": "=if(Number(@currentField) > 1000, '700',
'400')"
  }
}
```

アイコン付きのリンク。 担当者列のユーザーが、封筒のアイコン付きのメール リンクとして表示されます。この書式は　担当者列自体に設定され、ユーザー値のプロパティを使用します。

```
{
  "elmType": "a",
  "attributes": {
    "href": "='mailto:' + @currentField.email",
    "title": "=@currentField.title",
    "iconName": "Mail",
    "target": "_blank"
  },
  "txtContent": "@currentField.title",
  "style": {
    "color": "#0078d4",
    "text-decoration": "none"
  }
}
```



アイコン付きのメール リンクとして表示されたユーザー列

パフォーマンス

列の JSON は、その列のセルが初めて描画されるときに 1 回だけ解析され、解析されたツリーは、その列の他のすべてのセルと、以降のすべてのアイテムのページで再利用されます。セルごとに評価されるのは、トークンと式のみです。そのため、このオプションを有効にしても、長いページでもテーブルが表示されるまでの時間はほとんど増えません。

用語

JSON

JSON (JavaScript Object Notation) は、人間が読み書きしやすく、ソフトウェアが解析および生成しやすい、軽量なテキストベースのデータ交換形式です。構造化データを交換するために、REST API、構成ファイル、Web アプリケーションで広く使用されています。

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

SharePoint Online

SharePoint のクラウド版で、Microsoft 365 内の Web ベースのコラボレーション プラットフォームです。組織のデジタル情報、コンテンツ、ナレッジを保存、共有、管理するための幅広い機能を提供します。